

# 「自己を見つめること」

## を重点とした道徳科の授業づくり

### 第5学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「分かり合うために」（内容項目：B－1 相互理解、寛容）
- 2 教材名「ブランコ乗りとピエロ」（出典「きみがいちばんひかるとき5」光村図書）
- 3 主題設定の理由

学年が上がるにつれ、相互理解の対象が、「自分と異なる意見も大切」「広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する」「それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解する」など、徐々に広がっていくことを踏まえ、人間関係を形成するために、多様さを相互に認め合い理解しながら高め合う関係を築くことが大切である。第5学年では、中学年で考えを深めた「自分と異なる意見も大切にする」から発展させ、「広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する」ということについて考えを深めさせたい。自分の考えを伝えるだけでなく、相手の意見や立場を尊重するためには、どんな心が必要かを考えさせることで、第6学年へと繋げていきたい。

本学級の児童は、委員会や学級活動の場面で、自分たちで意見を出し合いながら学校や学級をよりよいものにしようとすることができる。一方で、話し合いをする時に、自分の考えを強く出そうとする場面や友達の意見をないがしろにしてしまう場面が見られる。そこで、「相手の立場や意見を尊重する」ことについて考えさせ、互いの違いについて認め合い、理解しながら、自分と同じように相手を尊重する心情を育てていきたい。

本教材は、前半でサムとピエロの対立している姿を描き、後半でサムの全力で演技する姿から、ピエロのサムに対する意識が変容した様子が描かれている。サムに対するピエロの心情の変化の理由を見つめることで、考えが違うもの同士が分かり合うために大切なことは何かを児童に考えさせることのできる教材である。指導に当たっては、ピエロの気持ちに焦点を当て、サムに対する心情の変化を通して、違う考えをもつ者同士がなぜ分かり合えたのかを考えさせるようにする。

#### 4 本時のねらい

対立していた2人が歩み寄り、協力してサーカスを成功させていく姿から、考えの違う者同士が許し合って暮らすためには、どんな心が必要かを考えさせ、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、広い心で相手の思いや立場を尊重しようとする道徳的心情を育てる。

#### 5 本授業のポイント

- ① 「問い返し」を行うことで、発言を拾いながら、児童の考えを深めていく。
- ② 「補助発問」を通して、より本時の道徳的価値を自分事として考えさせる。

## 6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p><b>1 本時の価値を捉え、解決すべき問題について思考を焦点化する。</b></p> <p>○友達と話をして、「許せない」と感じたことは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをだめだと言われた。</li> <li>・強い口調で話をされた。</li> </ul> <p>○そういう許せない自分をどう思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もやもやする ・許せたらいいと思うけど…</li> </ul>	<p>【事前にアンケートを取り、紹介する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の発問では、発言しにくいことが考えられるため、事前にアンケートを取り、その中のエピソードを紹介する。</li> </ul>
展開	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">考えのちがう者同士が許し合って暮らすためには、どんな心が必要だろうか？</p> <p><b>2 教材を読み、ねらいとする価値について考えを深める。</b></p> <p>○自分の出番が奪われた時、ピエロはどんなことを考えて見ていただろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サムばかり目立っている ・許せない</li> <li>・この日の為に練習してきたのに</li> <li>・なんで約束を守ってくれないの</li> </ul> <p>◎ピエロのサムに対する気持ちはなぜ変わったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サムも一緒にサーカスを成功させたいと思っている（目指していることは一緒）</li> <li>・サムが一生懸命頑張っている姿を見たから（みんなの立場になって）</li> <li>・頑張りを認めたいから（相手の良さを認める）</li> <li>・自分も最初は、目立ちたいと同じように考えていた（自分の行動を省みる）</li> </ul> <p>○ピエロが「許せない」と感じたことを、「許す」必要があったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーカス団としての成功に繋がるから</li> <li>・お客さんを喜ばせたい ・同じ仲間だから</li> <li>・そうじゃないとサーカスが成り立たない</li> </ul> <p><b>3 本時の問題について自分なりに解決する。</b></p> <p>○今日の活動を通して、あなたにとって、違う者同士が許し合って暮らすためにはどんな心をもつことが大切だろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆で深めた言葉や自分で考えた意見の中から、大切だと思うことをまとめ、理由も考えさせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初のピエロの心情を確認し、中心発問に繋げていきたい。</li> </ul> <p>【問い返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発言を拾いながら、問い返しを行うことで、考えを深めていく。</li> <li>・目指していることって？</li> <li>・何のためにサムは頑張っていたの？</li> </ul> <p>【発問で揺さぶる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容から、日常生活の場面に戻すような補助発問を行うことで、より自分事として考えてもらいたい。</li> </ul> <p>≪評価の視点≫</p> <p>◎自分事として価値を考え、自分なりの答えを見出している。</p>
終末	<p><b>4 本時の学習を振り返る。</b></p> <p>○教師の説話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの話に戻り、補助発問と同じ内容を問い、自分事として考えさせる</li> </ul>	

